

お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なお役立てください。

安全のために必ずお守りください

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

点検 ■6ヶ月に1回、外観及び機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。[建築基準法施行規則第6条・消防庁告示第3号と第14号]

ランプ交換・器具の清掃 警告 電源スイッチを切ってから行う(感電の原因)

蓄電池の交換 警告 電源スイッチを切ってから行う(感電の原因)

インバータ器具の取扱い ■赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。

保証について ■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。

異常時の処置 警告 煙が出たり、変な臭いが出たり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。

この説明書は再生紙を使用しています。

三菱電機株式会社 三菱電機照明株式会社

MITSUBISHI

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

E767Z406H23

三菱階段通路誘導灯・非常用照明器具兼用形

【蓄電池内蔵形】(高調波ガイドライン適合品)

保管用

Easyeco Super ブラケット(壁横付専用形)

- 形名 FVH4081EA EG, PH <光束比50%> (公共施設: K1-FBF15-321 PH, SK1-FST15-321 PH 使用ランプFHF32)

取扱説明書

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みの上、正しく施工してください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、警告、注意の表示で区分して説明しています。

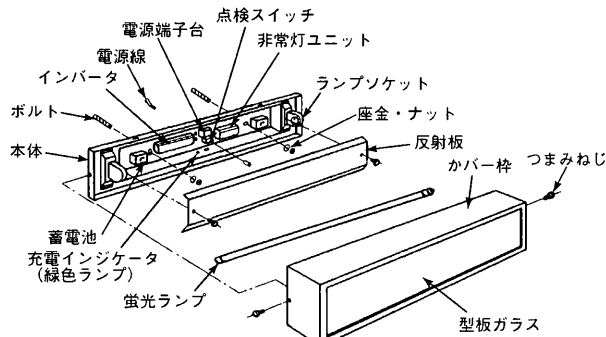
警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

お願い

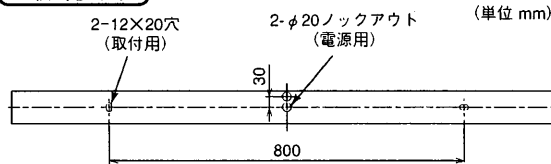
■周囲温度は5~35℃の範囲でご使用ください。■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。

**各部のなまえと取付けかた** **警告** 器具の取付けは取扱説明書に従い行う (不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)



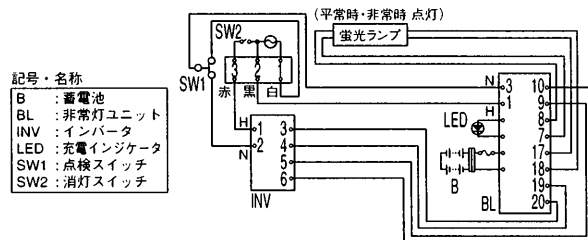
<上図はFVH4081EAを示す>

**取付穴**

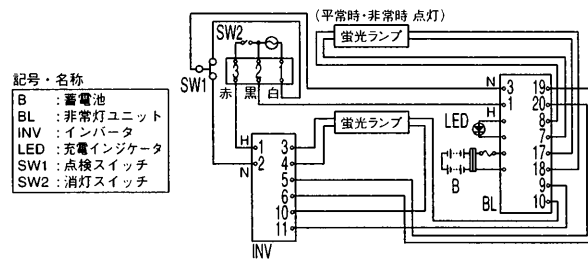


**接続図**

[FVH4081EA FVK4081EA]



[FVH4082EA FVK4082EA]



非常点灯時は1灯のみが下表の光束値で点灯します。  
( ) 値はFVK4082EA, FVK4081EAの場合

ランプ	FVH4081EA, 82EA (FVK4081EA, 82EA)		
	ランプ定格 光束 (lm)	光束比	非常点灯時光束 (lm)
FHF32EX	3200	60% (30%)	1920 (960)
FL40SW (SSW/37)	3100	50% (25%)	1550 (775)
FL40S.EX (SS.EX/37)	3560	50% (25%)	1780 (890)
FLR40SW (/36)	3000	50% (25%)	1500 (750)
FLR40S.EX (/36)	3450	50% (25%)	1725 (863)

**1 取付前の確認**

器具質量の10倍以上 (1ヶ所あたり) に耐えるよう、器具取付部の強度を確認する。

**警告**  
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)

**2 器具本体をボルトに取付ける**

- (1) 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
  - (2) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
  - (3) 上下の取付方向を確認して、本体を取付ボルトに取付け、ゆるみ止め施す。
- (ゆるみ止め: ダブルナット・歯付座金・ばね座金など)

**警告**  
取付けが不完全な場合落下の原因

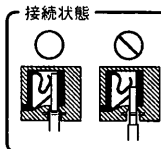
**3 電源線を電源端子台に接続する**

- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
  - (2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。
- <D種 (第3種) 接地工事が必要です>

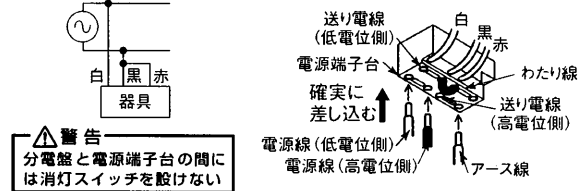
- 電源端子台の容量は20Aです。
- 適合電線: φ1.6mm単線 φ2.0mm単線
- 電源線は専用回路にする。

**警告**  
送り配線は誘導及び非常用照明器具専用とし、容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

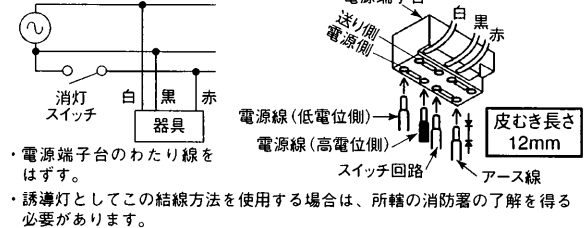
**警告**  
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ連結端子の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)



<単相2線2線引き・平常時消灯しない場合>



<単相2線3線引き・平常時消灯する場合>



- 通電後、蓄電池のコネクタを接続してください。通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
- 使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。
- 電源線接続の連結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

**4 反射板を取付ける**

つまみねじで反射板を取付ける。

**注意**  
取付けが不完全な場合落下の原因

**5 ランプを取付ける**

ランプを装着する。

**注意**  
取付けが不完全な場合落下の原因

**6 カバー枠を取付ける**

カバー枠を本体上部の長穴に引っ掛け、つまみねじで取付ける。

**注意**  
取付けが不完全な場合落下の原因

**7 点灯を確認する**

- (1) 非常点灯しない場合
  - ・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
  - ・蓄電池のヒューズは溶断していませんか。
  - ・蓄電池は24(48)時間以上充電してありますか。( )内の数値は非常灯の場合
- (2) 充電インジケータ (緑色の表示ランプ) が点灯しない場合
  - ・電源は通電されていますか。
  - ・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
  - ・蓄電池、非常灯ユニットのヒューズは溶断していませんか。